

I 本校の議論

これまでも本校では学級担任や養護教諭、栄養教諭がそれぞれの立場から様々な場面で健康にかかわる指導に取り組んできた。そこで本研究で「健康教育」をテーマに取り組むに当たり、職員一人一人の課題意識の整理から取り組んだ。

アンケートや話し合いにおいて、健康課題には個人差もあるが複数要因が絡み合っていること、子どもたち自身が理解し、実践できるような取組が必要であること、日常的に体験的な学習が必要であること等の意見が出た。そこで本校においては、テーマを①運動や身体を動かすことにかかわる「日常生活活動量」に関すること、②生活リズムの乱れや身の衛生の意識にかかわる「生活習慣」に関すること、③気持ちの自己コントロールの難しさやストレスにかかわる「心の健康」の三つとし、この三つの方向から児童生徒の健康課題に取り組み、その改善につながる教育支援を模索することとした。

II 前期研究

1 目的

「一人一人の健康課題への効果的な支援方法を明らかにする」

2 方法

「日常生活活動量」「生活習慣」「心の健康」の3研究グループに分かれて、以下の場面で各学部の児童生徒の健康課題に応じた実践研究を行った。各実践の介入効果は量的評価を用い検証した。

	日常生活活動量 G	生活習慣 G	心の健康 G
小学部	体育科	日常生活の指導	自立活動
中学部	保健体育科	日常生活の指導	自立活動
高等部	保健体育科	日常生活の指導 生活単元学習	生活単元学習

3 前期研究計画

前期では授業実践を2期に分けて実施した。2期目の授業実践は1期目の成果を他の類似事例へ応用したり、課題を受けて修正したりするための期間とした。

2018.04～07	研究グループ編成 研究グループの研究構想・実践計画
2018.08～12	[第1期]授業実践
2019.01～03	[第1期]授業実践の成果と課題 [第2期]授業実践に向けた計画（見直し、調整）
2019.04	実践計画
2019.05～07	[第2期]授業実践
2019.08	前期研究のまとめ